

Iwatani

2027年3月期第1四半期 決算説明資料

（見通しに関する注意事項）

将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。
当然のことながら、予想と違う結果となることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。

2026年8月6日
岩谷産業株式会社

〔証券コード 8088〕

2027年3月期第1四半期 決算概況

2027年3月期 第1四半期 決算ハイライト

▶ 売上高は増収となり、全ての利益項目で増益。第1四半期としては過去最高益。

2027年3月期 第1四半期 決算概要

- 増収要因 : L P ガス輸入価格が高値で推移したことに加え、半導体・電子部品業界向け商品や二次電池材料の販売が堅調に推移したことで、全てのセグメントで増収。
- 増益要因 : L P ガスの市況要因による増益影響に加え、ヘリウムの収益性が改善したことで増益。
- 通期業績予想 : 変更なし

※アイエスジー(株)の企業結合に関する暫定的な会計処理が確定したため、2026年3月期 第1四半期の営業利益、経常利益、四半期純利益を昨年発表した金額から修正しています。
本資料に記載されているデータは全て、上記内容を反映しています。

売上高

2,333億円

前年同期比 +270億円 (+13.1%)

営業利益

134億円

前年同期比 +69億円 (+109.0%)

経常利益

342億円

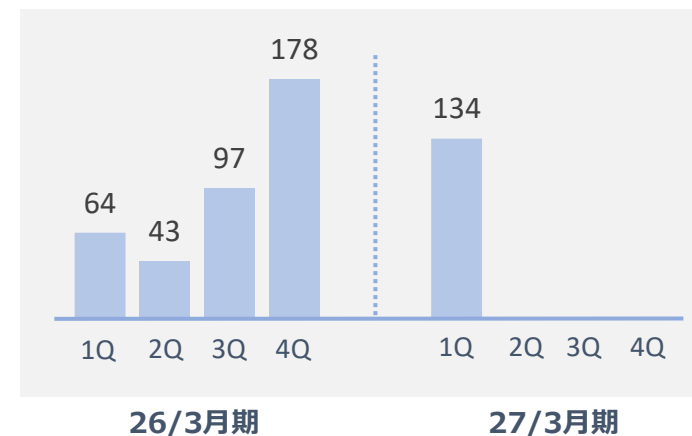
前年同期比 +268億円 (+361.3%)

四半期純利益

317億円

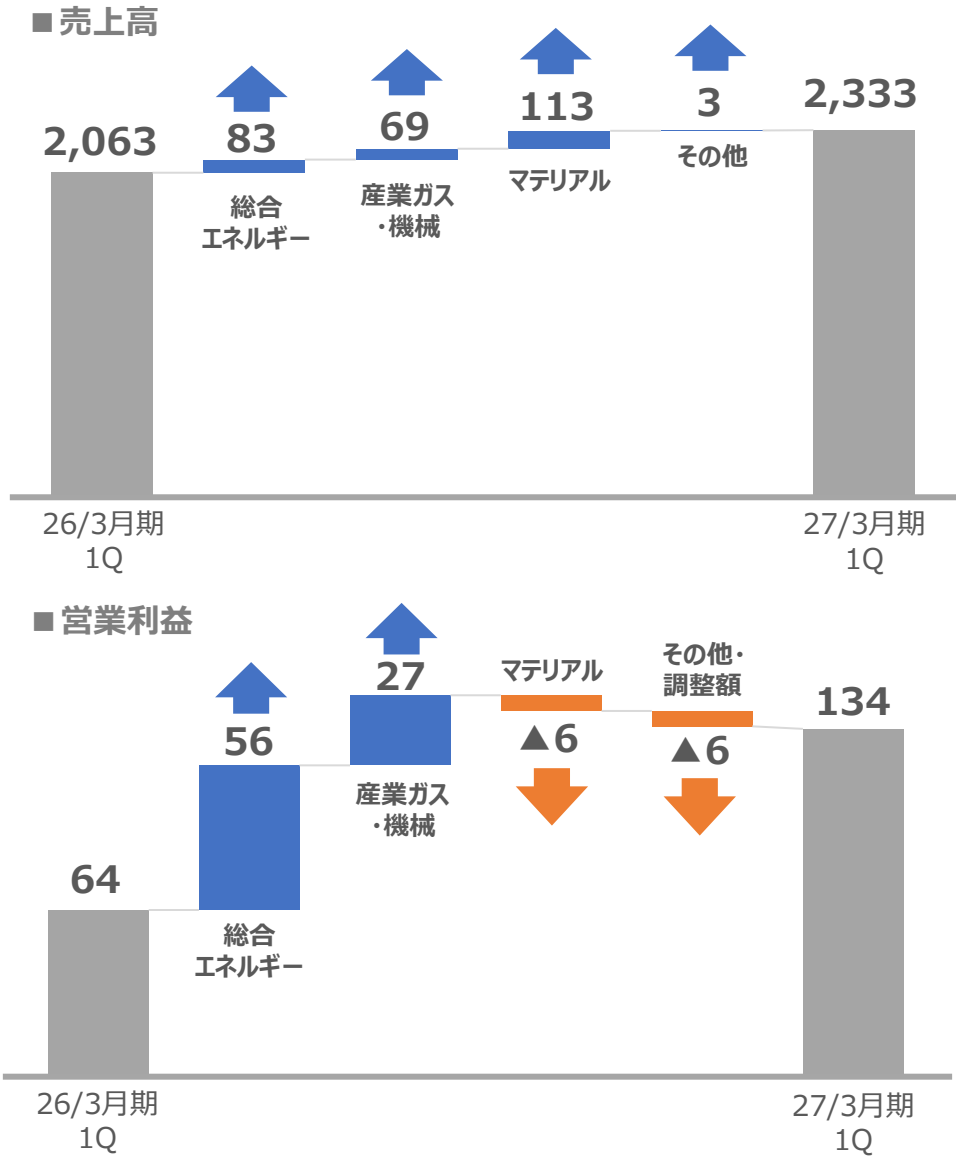
前年同期比 +269億円 (+569.6%)

■ 営業利益 四半期推移 (億円)



連結経営成績

	2027/3月期 1Q 実績	2026/3月期 1Q 実績	増減額 (増減率)	2027/3月期 通期見通し	進捗率
売上高	2,333	2,063	+270 (+13.1%)	9,600	24.3%
売上総利益	647	545	+101 (+18.6%)	-	-
営業利益	134	64	+69 (+109.0%)	488	27.5%
市況要因除く 営業利益	98	75	+22 (+29.1%)	488	20.1%
営業外損益	208	10	+198 (+1,949.5%)	-	-
コスモエネルギー HDに関連する 持分法投資損益	182	▲5	+187 (-)	88	-
経常利益	342	74	+268 (+361.3%)	590	58.1%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	317	47	+269 (+569.6%)	455	69.7%



連結経営成績（セグメント別）

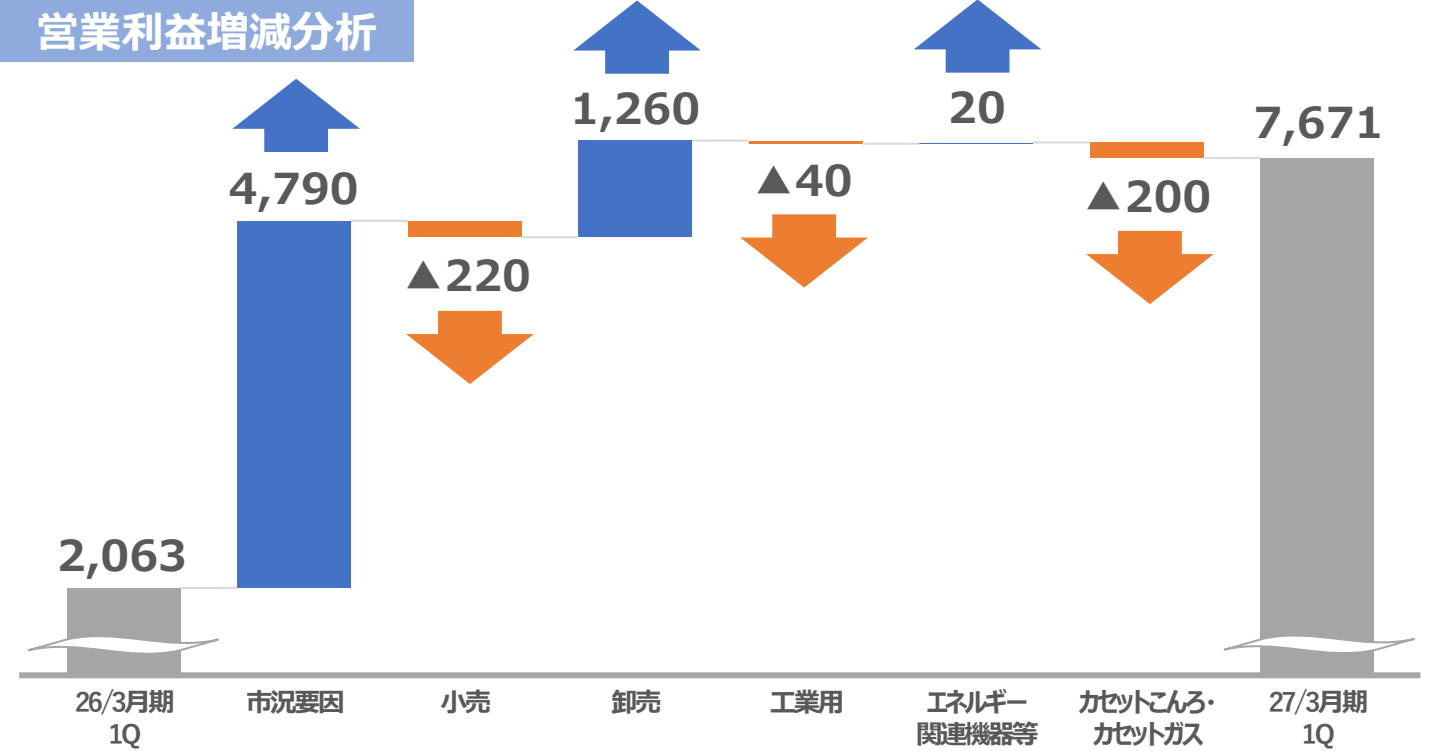
	2027/3月期 1Q 実績	2026/3月期 1Q 実績	増減額	増減率	2027/3月期 予想	進捗率
売上高	2,333	2,063	+270	+13.1%	9,600	24.3%
■ 総合エネルギー事業	998	914	+83	+9.1%	4,047	24.7%
■ 産業ガス・機械事業	690	620	+69	+11.3%	2,927	23.6%
■ マテリアル事業	628	515	+113	+21.9%	2,573	24.4%
■ その他	16	13	+3	+28.0%	53	32.1%
営業利益	134	64	+69	+109.0%	488	27.5%
■ 総合エネルギー事業	76	20	+56	+271.8%	231	33.2%
■ 産業ガス・機械事業	48	21	+27	+129.8%	185	26.2%
■ マテリアル事業	23	29	▲6	▲23.1%	130	17.7%
■ その他・調整額	▲14	▲7	▲6	-	▲58	-
市況要因を除く営業利益	98	75	+22	+29.1%	488	20.1%
（コスモエネルギーHDに関連する 持分法投資損益）	182	▲5	+187	-	88	-
経常利益	342	74	+268	+361.3%	590	58.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	317	47	+269	+569.6%	455	69.7%

※2027年3月期より、連結子会社2社を「その他」から「総合エネルギー事業」へ区分変更することに伴い2026年3月期実績を組み替えています。

セグメント別営業利益分析（総合エネルギー事業）

（単位：百万円）

決算実績						
	2027/3月期 1Q 実績	2026/3月期 1Q 実績	増減額	増減率	2027/3月期 通期見通し	進捗率
売上高	99,809	91,475	+8,333	+9.1%	404,700	24.7%
営業利益	7,671	2,063	+5,608	+271.8%	23,100	33.2%
市況要因除く 営業利益	4,063	3,242	+821	+25.3%	23,100	17.6%



主な営業利益増減要因

■市況要因 +4,790

(億円)	1Q	2Q	上期 累計	3Q	4Q	通期 累計
当期	+36.1	-	-	-	-	-
前期	▲11.8	▲19.4	▲31.2	▲24.4	▲1.4	▲57.1
差異	+47.9	-	-	-	-	-

■小売 ▲220
・LPガスの販売数量が減少

■卸売 +1,260
・LPガスの収益性が改善

■工業用 ▲40
・増熱用LPガスの販売が減少

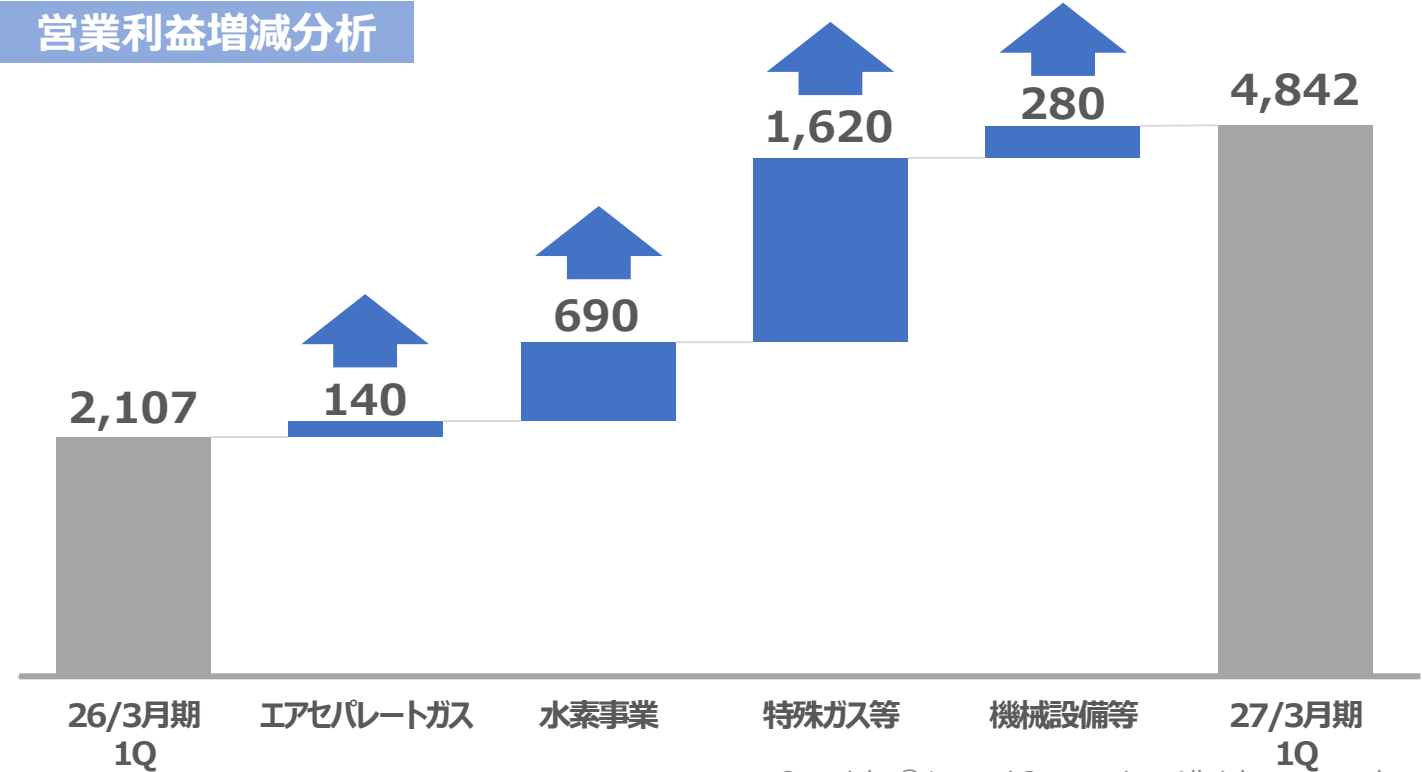
■エネルギー関連機器等 +20
・GHPや空調機器等の販売が堅調

■カセットこんろ・カセットガス ▲200
・中国での販売が低調

セグメント別営業利益分析（産業ガス・機械事業）

（単位：百万円）

決算実績						
	2027/3月期 1Q 実績	2026/3月期 1Q 実績	増減額	増減率	2027/3月期 通期見通し	進捗率
売上高	69,024	62,033	+6,990	+11.3%	292,700	23.6%
営業利益	4,842	2,107	+2,735	+129.8%	18,500	26.2%



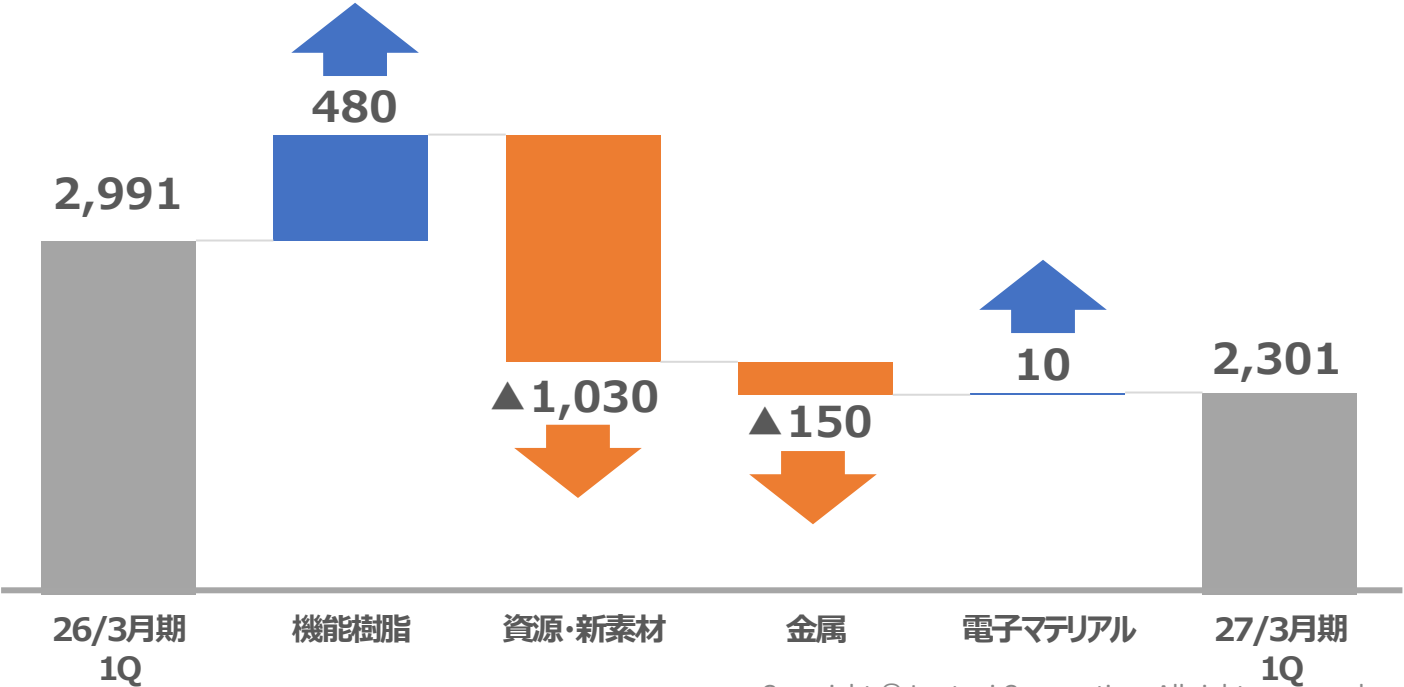
主な営業利益増減要因

- **エアセパレートガス +140**
・電子部品業界向けを中心に販売数量が堅調
- **水素事業 +690**
・宇宙開発や脱炭素用途として、液化水素の出荷が伸長
- **特殊ガス等 +1,620**
・ヘリウムは市況上昇により収益性が改善
・半導体業界向けのガスが好調に推移
- **機械設備等 +280**
・脱炭素用途のアンモニア供給設備の販売が増加

セグメント別営業利益分析（マテリアル事業）

決算実績						
	2027/3月期 1Q 実績	2026/3月期 1Q 実績	増減額	増減率	2027/3月期 通期見通し	進捗率
売上高	62,825	51,517	+11,307	+21.9%	257,300	24.4%
営業利益	2,301	2,991	▲690	▲23.1%	13,000	17.7%

営業利益増減分析



主な営業利益増減要因

- 機能樹脂 **+480**
 - ・樹脂原料及び樹脂製品の販売が堅調
- 資源・新素材 **▲1,030**
 - ・ミネラルサンドは豪州での新鉱区が安定操業に至らず収益性が低下
 - ・レアアース等は安定供給に努め、売上が増加
- 金属 **▲150**
 - ・ステンレスの販売数量が減少
- 電子マテリアル **+10**
 - ・二次電池材料の販売が伸長

2027年3月期 通期業績予想

2027年3月期 通期業績予想

(単位：億円)

	2027/3月期 予想	2026/3月期 実績	増減額	増減率
売上高	9,600	9,085	+514	+5.7%
■ 総合エネルギー事業	4,047	3,949	+97	+2.5%
■ 産業ガス・機械事業	2,927	2,887	+39	+1.4%
■ マテリアル事業	2,573	2,183	+389	+17.8%
■ その他	53	64	▲11	▲18.1%
営業利益	488	383	+104	+27.4%
■ 総合エネルギー事業	231	149	+81	+54.8%
■ 産業ガス・機械事業	185	154	+30	+20.0%
■ マテリアル事業	130	116	+13	+11.9%
■ その他・調整額	▲58	▲36	▲21	-
市況要因を除く営業利益	488	440	+47	+10.8%
(コスモエネルギーHDに関連する 持分法投資損益)	88	109	▲21	▲19.6%
経常利益	590	552	+37	+6.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	455	476	▲21	▲4.5%

・期初予想からの変更：なし
(2026年5月14日)

想定レート

為替 150円/\$

LPGガス輸入価格 550\$/トン

(2025年度実績)

為替 151.14円/\$

LPGガス輸入価格 549\$/トン

配当予想

2027年3月期

- ・中間配当：23.5円 (予定)
- ・期末配当：23.5円 (予定)
- ・年間配当：47.0円 (予定)

※2027年3月期より、連結子会社2社を「その他」から「総合エネルギー事業」へ区分変更することに伴い2026年3月期実績を組み替えています。

参考：LPガス輸入価格の変動による増減益効果（イメージ）

前提 ①卸売価格はLPガス輸入価格に連動

LPガス輸入価格  卸売価格
(中東玉(CP)と米国玉(MB)で構成)

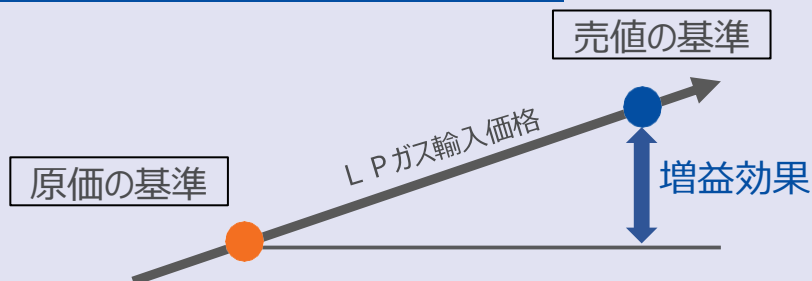
②輸入～販売の期間は約3カ月



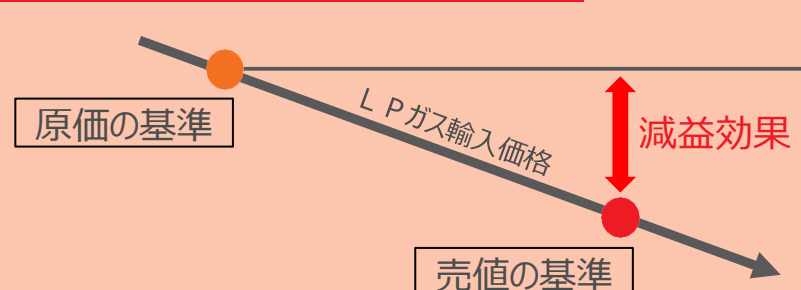
LPガス輸入価格が変動すると短期的に業績に影響が生じる（＝市況要因の発生）

⇒LPガス輸入価格が元の水準に戻れば影響はゼロ ※在庫量・販売時期・販売数量等によって実際の業績への影響は変動します。

LPガス輸入価格の上昇局面



LPガス輸入価格の下落局面



Iwatani